

# 文部科学大臣賞受賞・米国ボランティア親善大使 W受賞

## フィリピンの飾りで「堂上蜂屋柿」PR



「パロル」を手に活動を紹介するダルモさん(左)=県庁で

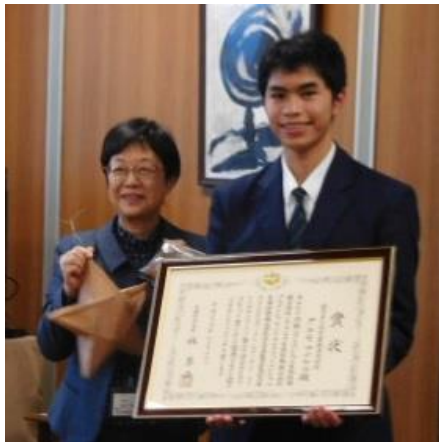
美濃加茂市特産の干し柿「堂上蜂屋柿」のPRに取り組む加茂農林高校食品科学科3年のダルモ・マイケルさん(17)が、青少年の社会貢献活動を応援する「ボランティア・スピリット賞」で、最高賞の文部科学大臣賞を受賞した。日本代表として、4月に米国で表彰を受ける「米国ボランティア親善大使」にも選出された。県庁で9日、松川礼子教育長に報告した。(兼村優希)

### ボランティア・スピリット賞

フィリピン人のダルモさんは、七歳で来日。内も地域住民を対象にワケ気だったが、美濃加茂市一クシヨップも開き、地の住民と触れ合ううち、域の活性化に貢献している、人と接するのが楽しい。二生懸命頑張るのようになったという。日本語はかっこいいと、先輩にも流ちょうに操る。加茂 伝えたい、こぼれ笑った。農林に入学した際、「自シヤル生命保険などが分を変えてくれたこの町ンシヤル生命保険などに恩返しをしたい」と決意。課題研究の一環で、堂上蜂屋柿のPRに取り組んできた。昨年からは、知人から資材を集め、竹ひの組、奨励賞八組が決まった柿渋で染めた美濃和紙を張って、フィリピン同士の投票で二組が選ばれた。

ダルモさん(加茂農林高)文科大臣賞

柿渋パロルを持って発表



加茂農林高校 食品科学科 3年 ダルモマイケル君  
岐阜県庁へ行き、岐阜県教育委員会教育長への表敬訪問で、教育委員会の多くの関係者の方々にボランティアスピリット賞全国表彰式での発表と、受賞の喜びを語りました。

H30(2018) 1. 10(水) 中日新聞 県内版 掲載記事